

ゴンクール新人賞受賞作

# もうひとつの『異邦人』

## ムルソー再捜査

### 作家カメル・ダーウド講演会

申込不要  
参加無料  
どなたでも  
参加できます

初の小説『もうひとつの『異邦人』—ムルソー再捜査』(鶴戸聡訳 水声社)で2015年度ゴンクール新人賞を受賞したアルジェリア人作家カメル・ダーウド氏を迎え、本作品ならびに母国の状況について話を伺うとともに、母国語ではなく外国語で創作することの意味を台湾籍の日本語作家李琴峰氏との公開対談を通じて考えます。



水声社  
カメル・ダーウド著  
鶴戸 聡訳、水声社



ACTES SED

日時 2019年 11月11日(月)  
15:00~16:30

- 会場 名古屋外国語大学 511教室
- 主催 名古屋外国語大学フランス語学科  
アリアンス・フランセーズ愛知フランス協会共同企画
- 後援 ワールドリベラルアーツセンター WLAB
- 協力 名古屋外国語大学 中国語学科、  
日本語学科、国際日本学科

- 使用言語 フランス語 (日本語通訳あり)
- 通訳 伊藤達也 名古屋外国語大学フランス語学科教授

特別ゲスト Profile 李琴峰 LI Kotomi  
作家・翻訳家

1989年台湾生まれ。15歳から日本語を学び始め、台湾大学卒業後、早稲田大学大学院日本語教育研究科に留学。2017年初めて日本語で書いた小説『独り舞』で群像新人賞受賞、2019年『五つ数えれば三日月』で第161回芥川賞候補に。日中両言語の翻訳家としても活動しており、自作『独り舞』も台湾版に自己翻訳している。研ぎ澄まされた文体で性的マイノリティの現実を描く作品に注目が集まっている。



芥川賞候補作



© Philippe matsas, 2018

Profile  
カメル・ダーウド  
Kamel DAOUD  
作家・ジャーナリスト

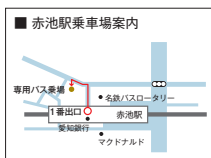
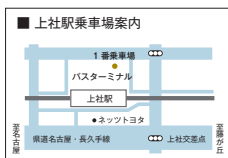
1970年アルジェリア生まれ、作家・ジャーナリスト。アルジェリアのオランでフランス語系新聞の編集長を務める傍ら、フランス、イタリア、アメリカの新聞にも寄稿。2014年に発表した初の小説『もうひとつの『異邦人』—ムルソー再捜査』で2015年ゴンクール新人賞を受賞。本作はノーベル賞作家アルベール・カミュの『異邦人』を、殺されたアラブ人の立場から反転して書き直したもので、日本語を含む28ヶ国語に翻訳されて世界中で話題になっている。

読書の秋 パートナー企業



■本学へのアクセスについて■

当日、駐車場はありませんので公共交通機関または上社駅、赤池駅からの専用バス(無料)をご利用ください。専用バスにご乗車の際は、イベントに参加する旨を運転手にお伝えください。



問合せ先

電話での本学へのお問い合わせ

名古屋外国語大学 0561-74-1111(代)  
470-0197愛知県日進市岩崎町竹ノ山57



本イベントにおける写真撮影や録音はご遠慮いただきますようお願い申し上げます。会場では腕章を付けたカメラマンが記録用の写真撮影を行っています。本学ウェブサイトやその他の刊行物に、写真が掲載されることがありますのでご了承ください。



※会場の温度調整が難しいため、調整しやすい服装でお越しください。

Facebook